

## 令和5年5月16日亀岡市教育委員会会議録

- 1 開会 午後2時00分  
閉会 午後4時02分

### 2 出席委員

神 先 宏 彰 教育長  
北 村 真 也 教育長職務代理者  
末 永 礼 子 委 員  
秋 山 伸 夫 委 員  
松 浦 千 弘 委 員

### 3 欠席委員

出 藏 裕 子 委 員  
陀 安 一 郎 委 員

### 4 出席事務局職員

森 岡 浩 之 教育部長  
川 口 雅 彦 次長兼総括指導主事  
阿比留 綾 教育総務課長  
今 西 恵 一 学校教育課長  
樋 口 竜 次 社会教育課長  
宮 本 かおり 社会教育課人権教育担当課長  
岡 田 康 宏 歴史文化財課長兼文化資料館長  
岩 崎 盛 雄 学校給食センター所長  
小 川 博 久 図書館長  
谷 口 正 二 みらい教育リサーチセンター所長  
戎 謙 博 みらい教育リサーチセンター指導主事  
榎 本 祐 輔 教育総務課総務係長  
野々垣 吉 輝 みらい教育リサーチセンター主事

### 5 傍聴者

な し

### 6 議事の概要

#### (1) 開会

○教育長が開会を宣言。

(2) 前回会議録の承認

令和5年4月13日に開催した臨時会の会議録を承認した。また、4月18日に開催した定例会の会議録を承認した。

(3) 教育長からの報告

○教育長から以下の報告があった。

◎亀岡市関係

- ・ 出雲大神宮鎮花祭に参加した。
- ・ 令和5年度亀岡市保津地域アユモドキ保全協議会総会が開催され、令和4年度の決算監査報告、並びに令和5年度の事業計画予算案について議事が行われ、承認された。
- ・ 「KAMEOKA 交通事故ゼロを目指す日」の啓発活動を安詳小学校前で行った。
- ・ 愛宕神社鎮火祭に参加した。
- ・ 魅力と特色ある学校づくり推進事業審査会を行った。今回は、5校から応募いただいた。審査員には市長にも参加いただき、学校のプレゼンテーションも緊張感のあるなかで行われた。
- ・ 文部科学大臣表彰を受けた詳徳小学校の学校訪問を行った。
- ・ 第19回亀岡市ラグビー祭が開催され、出席した。
- ・ 人権教育啓発指導員委嘱状交付式を開催し、今年度お世話になる指導員に対し、委嘱状を交付した。
- ・ 第50回亀岡光秀まつりが開催され、武者行列の巡行も行われ、参加した。
- ・ 昨年度に行ったものであるが、自分の志を書いて写真を撮ったものを画家葛飾北斎の富獄三十六景 神奈川沖浪裏を創ることにチャレンジしたところ、ギネス記録に認定され、志教育ギネス世界記録達成セレモニーがガレリアかめおかで開催され、出席した。
- ・ 校園長会議を開催したが、今回はオンライン開催とした。
- ・ 令和5年春の全国交通安全運動に係る街頭啓発活動を加塚交差点で行った。

◎国・府等の関係

- ・令和5年度当初南丹局管内教育長会議に出席、管内2市1町の教育長に対し、南丹教育局から今年度の方針や新規事業について報告があった。
- ・南丹教育委員会連絡協議会幹事会があり、出席した。
- ・令和5年度当初管内校園長会議に出席した。
- ・近畿都市教育長協議会定期総会が大阪府泉佐野市で開催され、出席した。昨年度は日程を短縮し、1日開催であったが、今年度は、2日開催となった。
- ・南丹教育委員会連絡協議会総会が開催され、出席した。
- ・今年度当番市となっている第1回南丹地区教科用図書採択協議会を京丹波町で開催した。

(4) 報告事項

- ①学校規模適正化について
- ②亀岡市学校給食検討懇話会設置要綱の制定について
- ③亀岡市まなびの機会サポート事業補助金交付要綱の制定について
- ④各学校における取り組みについて（青野小、亀岡川東学園）
- ⑤令和5年度亀岡市さわやか教室について
- ⑥令和5年度子育て・親育ち講座について
- ⑦令和5年度障がい者成人学級について
- ⑧令和5年度かめおか児童クラブの開設状況について
- ⑨亀岡市新資料館（仮称）の整備について
- ⑩令和5年度6月教職員研修講座について
- ⑪活用型情報モラル教材「GIGA ワークブック」の活用について
- ⑫人型ロボット（pepper）英語学習コンテンツについて

○各課長等からの報告を受けて、委員から次の質問・意見があった。

<学校規模適正化について>

- |           |   |
|-----------|---|
| 末 永 委 員   | 地域所有の丸太を育親学園のために寄附いただくということで、たいへんありがたいと思う。この丸太は、初めから切り出してあったのか。               |
| 阿比留教育総務課長 | 神前区にある神社の御神木が倒木した際のもの聞いています。当初、8メートル程あったものだが、運搬できないため、4.5メートル程に切ったとの説明を受けている。 |
| 北村職務代理者   | 自身がプロポーザル審査にも関わったが、参加いただいた事業者については、どこもたいへんレベルが高いものであったと感じている。今は、優先交渉事業者というこ   |

となので、プロポーザルで提案いただいた内容に決定したということではなく今後設計内容を具体的に進めていく中で正式決定していくと聞いている。タイトなスケジュールではあるが、事業者自体の経験やノウハウを活かして進めていってほしいと思っている。

松浦委員

設計に関しては、いろんな人の目線で取り組んでほしいと願っている。女性や子どもたち、教職員などの声を聞いてほしい。意見が一部からだけになると、自身の経験から完成したあとに不具合が生じているということがあった。バリアフリー、ユニバーサルデザインなど誰もが快適な空間づくりが大切だと感じているので、細かなところにも注視して進めてほしい。

阿比留教育総務課長

事務局としても、重要な視点と認識している。事業者についても多くの人の意見を取り入れていく考えで、今後ワークショップの開催等も予定している。

また、タイトなスケジュールにはなるが、事業者とは今後1週間に1度程度は定期的な打ち合わせを行って進めていく予定である。

<亀岡市まなびの機会サポート事業補助金交付要綱の制定について>

末永委員

学校に行きにくい子どもたちにまなびの場の経済的な支援ということで意義ある事業と思っている。月に1万円ということであるが、額については今後の状況を見て、再度検討してもよいのではないかと感じている。また、このような事業は、他市でも実施されているのか状況がわかれば教えてほしい。

北村職務代理者

今回の事業実施については、たいへん画期的なことである。京都府内では、実施しているところがなく、全国でもほとんど例がないということである。今まで「0」であったところが、一歩進んだという風に思っている。制度申請について、利用者が十分に周知できていない印象も少し感じている。できるだけ、利用者が不利益にならないよう、取り組んでほしい。

今西学校教育課長

申請について、既に問い合わせをいただいている。よりよい制度となるよう、丁寧な説明及び周知を行っていきたいと考えている。

<令和5年度かめおか児童クラブの開設状況について>

北村職務代理者

かめおか児童クラブとしてスタートし、1カ月余りではあるが、土日祝日の実施状況を聞かせていただいて、今

後どういったタイミングで、どんなルールに基づいてかめおか児童クラブという枠組みを決めていくのかは重要になってくると感じた。何か考え方などあるのであれば教えてほしい。

樋口社会教育課長

アンケート調査を基に現在の枠組みを決めたが、開設場所も少ないということもあり、現在の状況となっていると思う。開始して間もない状況でもあり、長期休業中の状況等も踏まえ、今後分析は必要と考えている。来年度の予算要求の時期である秋頃を目途に方向性は示していきたい。

<令和5年度6月教職員研修講座について>

末永委員

人権教育講座が社会教育課と共催で開催されるとのことであるが初めての試みではないかと思っている。以前に教職員へのアンケートの中で教職員自身の人権教育への理解、認識が低い結果が出ていた。このような研修を開催していくことが必要であるので、今後もひとつでも多く講座を開催してほしいと思う。

<人型ロボット（pepper）英語学習コンテンツについて>

末永委員

pepper を活用していろんな取り組みを見させていただきたくさんの可能性が秘められていると感じた。今後は、子どもたちの意欲を引き出し、学校生活にどのように繋げていけるか、例えば、特別活動や委員会活動、行事などにも多くの場面で活用できるのではないかと思った。

北村職務代理者

違う視点ではあるかもしれないが、少し意見を述べたい。個人的には、学校現場の現状は非常に厳しい状態ではないかと感じている。特に小学校では、次から次に取り組む事項が増えている印象であり、現場の受け止め方というところはどうか。また、pepper 自体は基本的な設計が古いと感じている。この領域については、年々急速に進歩していることから、活用し続けるということに関して何か考え方はあるか。

成みらい教育リサーチセンター指導士

確かに導入当初は、コロナ禍でもあり、子どもたちが pepper に触れることもできない状況からスタートした。今、こういった取り組みが進んできたのも、現場の先生方の工夫と努力のおかげと感謝している。学校には、現状、環境学習の部分以外にはこれをしてほしいという枠組みはほとんどない。導入して、学校自体も少しずつ活用が幅が出てきて変化がみられてきたと思う。また、学校に pepper というロボットがいるということすごいことで

あって、例えば、学校にきたら pepper に会えるというような、子どもたちに少しハードルを下げるような役割も担っているのではないかと思っている。Pepper を、置くだけ、動かすだけ、それ自体がひとつのきっかけづくりだと捉えている。そこからどう派生させていくかが重要である。Pepper がいる環境を整え、学校のニーズに応えていくというところを模索していきたい。また、近年の急速な進歩への対応の部分は、ソフトバンク社も企業努力いただいている部分である。Pepper という形には変化があってもいいと感じていて、大切なのは ICT の技術を活用し、少しでもそういった環境を整えていき、機会を提供していきたいと思う。

松 浦 委 員

これまでの経験からではあるが、働いていた職場はかなりこういった取り組みの最先端であったかなと思う。全教室電子黒板での授業形態をとっていて、タブレット端末を使用していた授業であった。そういったところからすると、pepper という形に拘らなくても活用は図れていくのではないかと感じた。小規模校などには効果を発揮するかもしれないが、大人数のところでは pepper のプログラミングがタブレット端末等に組み込まれているだけでもよいのかもしれない。こういった分野は、常に変化が激しいので環境の波に取り残されないようにしなければならない。

(5) 閉会

○教育長が閉会を宣言

以 上

○教育長職務代理者

○委 員

○委 員

○委 員

○教 育 長

(調整者 教育総務課長 )